

第 1 章

五所川原市水道事業ビジョン (2019 年度)の策定にあたって



七和配水池

第1章 五所川原市水道事業ビジョン(2019年度)の策定にあたって

第1節 策定の主旨

五所川原市の水道事業は、大正期に生活用水としていた井戸水の多くで、塩分が含まれるなど飲用に適さないことから、水道の普及が望まれ、大正13年5月に認可を受け、昭和2年2月から給水を開始しており、今年で91年目を迎えます。

これまでの水道事業は、健康で文化的な生活を支える市民生活に欠かすことのできないライフラインとして、また地域の経済活動を営む上で必要不可欠な基盤施設として重要な役割を担ってきました。しかし、近年では、少子化による人口の減少、自然環境の変化および多様なニーズへの対応に加え、老朽化した施設の更新時期を迎え、さらに、平成23年3月11日には東日本大震災が発生し、地震対策の強化など、水道を取り巻く環境が大きく変化してきました。

このような状況のなかで、平成25年3月には厚生労働省から「新水道ビジョン」が公表され、五所川原市水道事業でも「五所川原市水道ビジョン(平成25年度)」を策定し、課題に対応してきましたが、策定から5年が経つことから、フォローアップをする時期にきています。

五所川原市水道事業ビジョン(2019年度)の目的は、前回の水道ビジョンのフォローアップにあわせて、水道事業の現状と課題を把握し、将来にわたって市民への給水サービスをさらに向上させ、今後の多様化する課題に対応した新しい事業計画を策定し、安全で強靱な水道の持続について、当面の目標と水道事業の長期構想をとりまとめるものです。



五所川原市の市章

五所川原(Goshogawara)のGをモチーフにし、青色は、日本海・十三湖・岩木川の水を、緑色は、津軽平野の大地の恵みを、赤色は、リンゴと太陽をそれぞれ象徴し、豊かな自然を背景に生き生きと未来に活躍する姿をイメージしています。

第2節 計画の位置付け

「五所川原市水道事業ビジョン(2019年度)」は、厚生労働省が示した新水道ビジョンを踏まえ、青森県水道整備基本構想、五所川原市総合計画等との整合を図り、今後の水道事業の運営に関する長期的な方向を見据え策定します。

なお、実施にあたっては、事業の効率化の検討や財政状況を勘案し、合理的な計画実行を目指していきます。

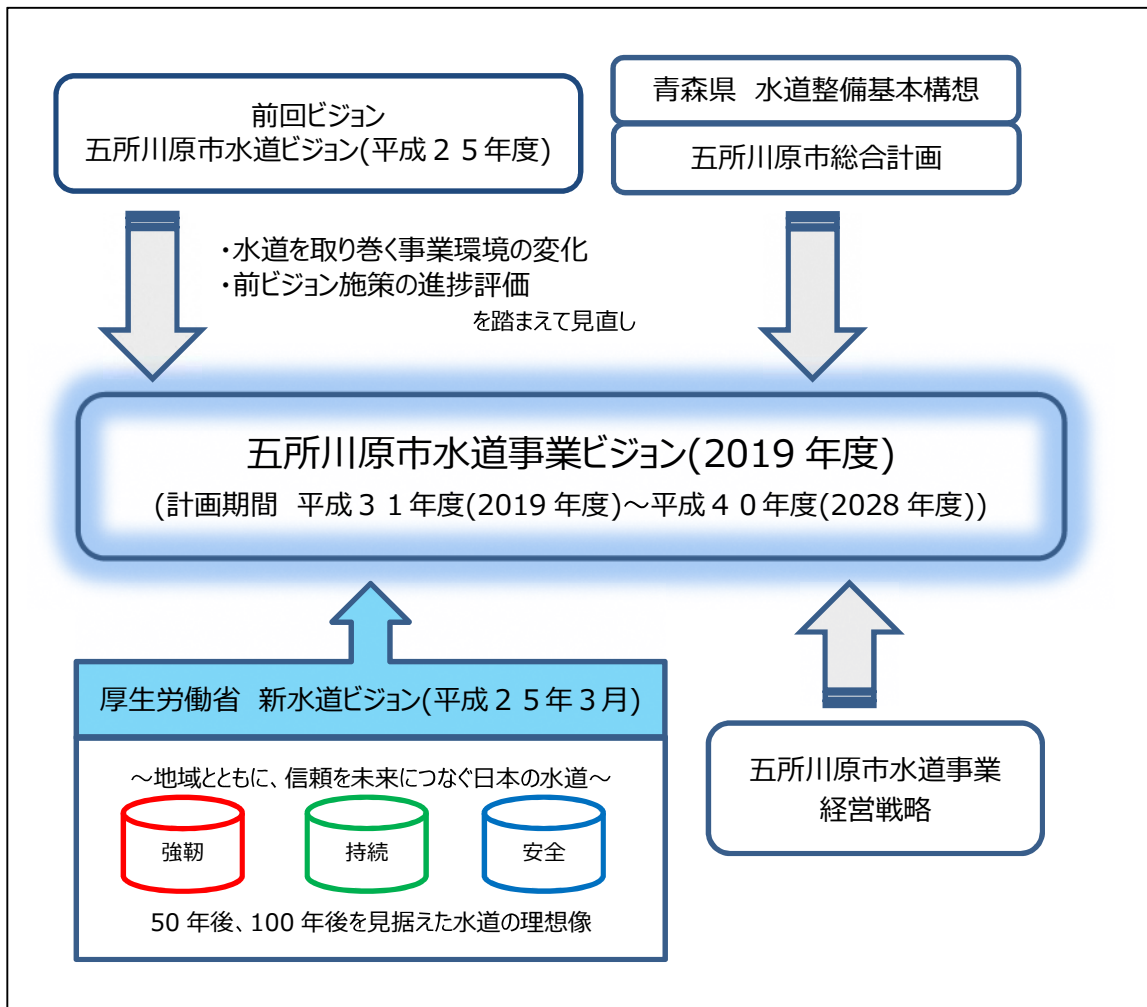


図 1-1 五所川原市水道事業ビジョン(2019年度)策定の背景と位置付け

第3節 計画期間

五所川原市水道事業ビジョン(2019年度)の計画期間は、平成31年度(2019年度)から平成40年度(2028年度)までの10年間とします。

なお、概ね5年毎に前回の水道ビジョンのフォローアップとして、事業の進捗状況について点検、評価を行い、計画を見直します。

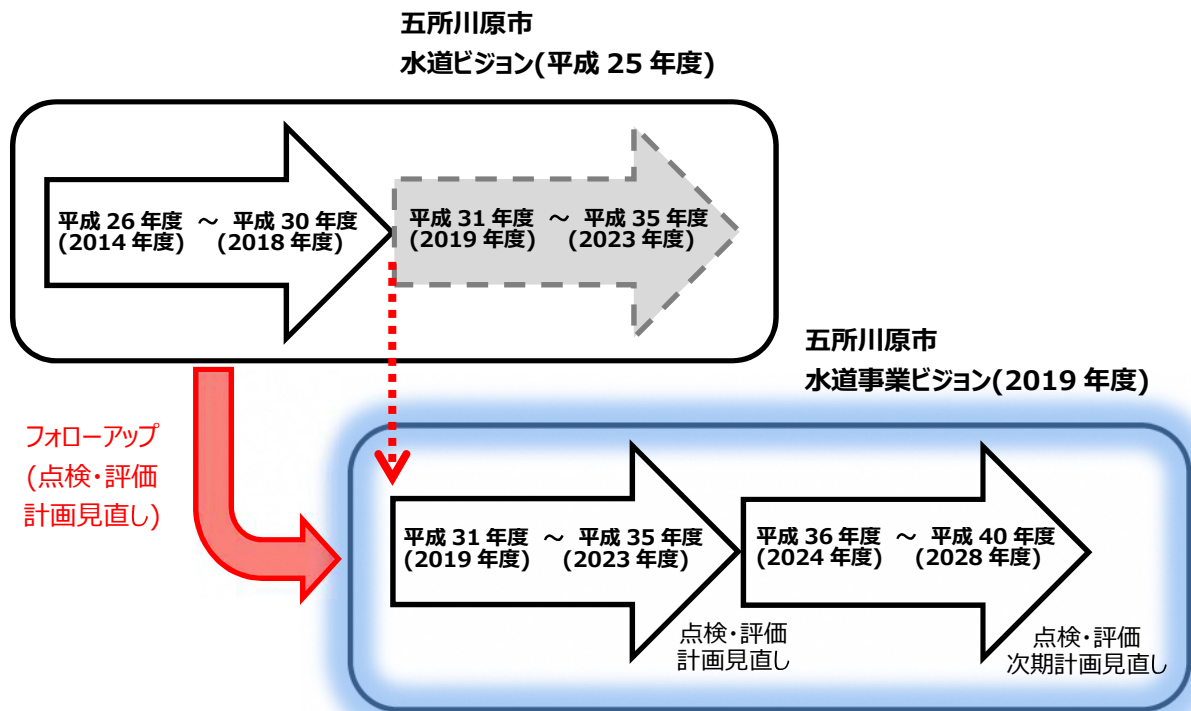


図1-2 五所川原市水道事業ビジョン(2019年度)の計画期間

名 前：ごしよりん
性 別：男の子♂
生年月日：平成24年8月2日
性 格：何にでも興味を持つ好奇心旺盛な男の子。
五所川原市原産の果肉まで赤いりんご品種「御所川原(通称 赤～いりんご)」と立佞武多を融合させたデザインです。

市のイメージキャラクター ごしよりん